猫は室内で飼おう!

室内飼育のメリット

1. 交通事故にあう危険がない
2. 感染症にかかる危険が少ない
3. ご近所トラブルが少なくなる
4. 虐待などの被害にあうことがない

室内飼育のデメリット

猫が退屈しやすい

▶ 環境を整え飼い主がコミュニケーションをとることで、猫は室内飼育でも十分に幸せに暮らせます!!

猫に快適な室内環境

室内の安全対策

- 脱走しないように、窓や扉の戸締りを徹底しましょう。
- 口にすると危険なものを片づけましょう。(電気コード、観葉植物など)

外を眺める場所

窓の外を見るという刺激が与えられ、「退屈」を感じにくくなります。

くつろげる場所

柔らかな布の上、暖かな場所を好みます。

隠れ場所

猫は本来臆病な動物です。驚いたときに猫が逃げ込めるスペースを用意しましょう。

トイレ

猫は非常にきれい好きで、トイレにこだわりがあります。

猫にとって快適なトイレ環境

・トイレの数「猫の頭数+1」
・大きめのトイレを選ぶ
・好きな砂の種類を使う　・清潔に保つ

上下運動

上下運動や動き回れる空間があると、猫は自分でエネルギーを発散できるため、問題行動の予防になります。

入り組んだ動き回れる空間

爪とぎ

猫は爪とぎの習性があります。家具や柱などで爪を研がないように、専用のものを用意しましょう。

ケージ

子猫のうちから習慣づけて上手に使うとよいでしょう。災害時や入院時にも役に立ちます。

飼い主とのコミュニケーション

室内飼育されている猫の場合は他の社会や動物との接点がないので、その分飼い主が毎日コミュニケーションを図り、かまってやる必要があります。話しかけたり、なでたり、おもちゃを使って遊んだりする時間を作りましょう。

環境省
Ministry of the Environment